

(株)ベイ・コマース 中小企業・SDGs ビジネス支援事業に採択

～輸出向けバナナの品質向上とバリューチェーン強化を通じてタイ国の発展に貢献～

「信頼で世界をつなぐ」をビジョンに掲げ、日本の政府開発援助（ODA）実施機関として開発途上国への国際協力を行っている独立行政法人国際協力機構（理事長：田中明彦、本部所在地：東京都千代田区、以下：JICA）は、「2024年度中小企業・SDGs ビジネス支援事業～ビジネス化実証事業～」に、株式会社ベイ・コマース（神奈川県横浜市、片岡 貴之 代表取締役・社長）が提案する、「タイ国バナナの品質向上を通じた生産者収入向上及びバリューチェーン強化にかかるビジネス化実証事業」を採択しました。

日本のバナナ需要が増え続けていますが、大口輸出国のフィリピンでパナマ病が蔓延し、バナナの生産・輸出が低調となっています。他方、東南アジア各国で輸出用バナナの生産が伸び始めています。タイの高地で栽培されたバナナはさっぱりとした甘みと風味に特長があり、日本の大手流通企業や生協から引合いがあり、テスト輸入商品に消費者から好評の声をいただいています。

本事業は、輸出向け青果物の生産・品質管理技術（栽培・洗浄・梱包等）から流通までのサプライチェーン・サービスに強みを持つ株式会社ベイ・コマースが、タイ政府商務省及び農業・協同組合省並びに現地企業等と協力して、タイの生産者と日本の消費者の双方の経済・社会の発展に資するため、タイ国産の輸出用バナナの品質向上と、供給の増大と安定化を図り、ひいてはバナナ農家の自立と収入向上を目指します。



コラートの生産者と



タイ産高地栽培グロスミッシェル種

【関連リンク】

・2024年度「中小企業・SDGs ビジネス支援事業（JICA Biz）」：地域金融機関との連携案件 20 件を含む 57 件の採択を決定

[2024年度「中小企業・SDGs ビジネス支援事業（JICA Biz）」：地域金融機関との連携案件 20 件を含む 57 件の採択を決定 | ニュース・広報 - JICA](#)

・「タイ国高地栽培バナナの品質向上を通じた生産者収入向上及び バリューチェーン強化にかかるニーズ確認調査」

[案件概要](#)

・株式会社ベイ・コマースについて

[会社概要 | 【公式】株式会社ベイ・コマース](#)

■独立行政法人国際協力機構（JICA）について

JICA は、開発途上国が直面する課題を解決するため、技術協力、有償資金協力、無償資金協力など日本の政府開発援助（ODA）を一元的に担う二国間援助の実施機関で、150 以上の国と地域で事業を展開しています。

国際社会の課題は日本とも密接に関係しています。国内外のパートナーと協力してそれらの解決に取り組み、世界の平和と繁栄、日本社会の更なる発展に貢献します。

詳しくは <https://www.jica.go.jp/index.html> をご覧ください

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 横浜センター 市民参加協力課 民間連携事業班 吉田、小島 TEL 045-663-3253 e-mail: YICTPP@jica.go.jp